



**ホールで存在感増すAED 供給遅延も念頭に備えを**  
ユーコーの報告書に学ぶAEDによる救命活動時のホールの諸注意  
**景品(賞品)提供業務の効率化・合理化について 三堀 清**

# 機構の動き

5月度<2022年5月1日~5月31日>

## 遊技機等への立入検査関係

5月度 立入検査店舗数124店舗  
(遊技機検査101店舗、計数機検査23店舗)  
5月末日 誓約書提出店舗数8181店舗 (対前月比▲55)

## 依存防止対策調査の関係

5月度 依存防止対策調査実施店舗数105店舗  
5月末日 承諾書提出店舗数8024店舗 (対前月比▲43)

## 会議開催関係

5月16日(月)に定例理事会を開催した。  
定例理事会においては2021年度の計算書類等(決算)を承認可決した。  
あわせて6月6日に定時社員総会を招集すること等を承認可決した。その他、社内規程である「出張旅費規程」などを改定するとともに、今後の経費削減策についても推進していくことを決定した。

# CONTENTS

7 July  
2022

ホールで存在感増すAED 供給遅延も念頭に備えを ~ユーカーの報告書に学ぶAEDによる救命活動時のホールの諸注意	1
景品(賞品)提供業務の効率化・合理化について 三堀 清	5
店長に求められる知識「計数管理Ⅹ」	8
銀世界の裏154「新たな挑戦(前編)」	11



## 和歌山県那智勝浦町 熊野那智大社 那智の火祭り

133m日本一の落差を誇る那智の滝。滝の前の飛瀧神社の参道で、燃え盛る大松明(たいまつ)を抱えた男たちが練り歩く、勇壮な火祭り神事=表紙写真=だ。

年一度、熊野の12の神々は12の扇神輿に乗って、御滝前の飛瀧神社に里帰りする。それを12本の大松明が迎え、炎で神輿を清めるというものだ。

扇神輿も特徴がある。神々を滝の姿に表現したとされる、高さ6mの縦長の神輿=写真=。1基につき、金地に朱の目の丸が描かれた扇が32面取り付けられている。祭りの正式名が「扇会式」「扇祭」といわれる由縁でもある。

今年は参列者の人数制限をし、斎行時間も変更し、7月14日に行われる予定という。

# ホールで存在感増すAED 供給遅延も念頭に備えを

ホールは高齢者が多く集まる場所であり、来店客が遊技中に倒れる事例が珍しくないことから、自動体外式除細動器（AED）が2004年に非医療従事者も使用可になってからは、業界でも設置店が増加。ホールでの使用事例は少なくなく、21年も複数の命が救われた。これから暑い夏を迎え、必要性は一段と増していくと思われる。一方、世界的な部材不足で、AEDは供給遅延が懸念されている。最近のホールの使用事例や設置状況などを交えつつ、昨夏の系列店での救命事案の報告書を今年1月に公表したユーコーラッキーグループ（本社・福岡県久留米市）を取材し、設置店に求められる日頃の体制と使用時の諸注意を整理する。

## ユーコーの報告書に学ぶ AEDによる救命活動時の ホールの諸注意



ユーコーラッキーグループの川崎政也課長

### 21年も複数ホールで AEDによる人命救助

消防庁によると、2020年中に一般市民が心原性心肺機能停止傷病者を目撃し、心肺蘇生を実施した数は1万4974人。そのうちAEDを使用し除細動を実施した傷病者数は1092人で、1か月後生存者数は581人（約53%）、1か月後社会復帰者は479人（約43%）となっている。

同調査では、AEDを使った場合の1か月後生存率は、使わなかった場合の約3・5倍。使った場合の社会復帰率も、使わなかった場合の4倍強。心拍停止から1分経つごとに救命率が10%落ちるといわれるなか、同設備による心肺蘇生の有無は傷病者の生存や社会復帰に大きな影響を及ぼしているということだ。

パチンコ業界でも、ホールスタッフのAEDによる救命措置で助かった命は少なくない。

21年も8月4日、福岡県を中心に店舗展開するユーコーラッキーグループ（金海基泰社長）は、「ユーコーラッキー」広又本店（久留米市）で遊技中に男性客（60歳）が心肺停

# ホールで存在感増すAED 供給遅延も念頭に備えを

止に陥ったため、従業員が連携して店内のAEDで救命措置を講じたところ、救命隊員到着前に蘇生した。ちなみに同社グループでは08年と17年にも系列店でAEDの使用事例がある。

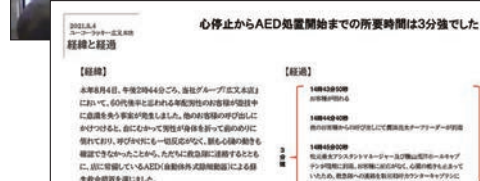
8月16日には埼玉県川口市の他系列のホールのスタッフが店舗周辺の防犯活動をしていた際に路上で倒れている男性を発見し、もう1人のスタッフと対応。救急隊員が到着するまでの間、心臓マッサージを施すとともに店内のAEDを使用したところ、蘇生した。

鹿児島県内に店舗展開する南日観光(本社・鹿児島市、吉永哲哉社長)の系列店「ナンニチ新栄店」(同市)では12月21日、70歳前後とみられる男性客が遊技中に心肺停止



南日観光も21年12月に「ナンニチ新栄店」のスタッフが心肺停止客を救助。5月31日の鹿児島県遊技協会で正吉浩理事長(左)から全日遊連の感謝状を授けられた

ユーコーラッキー広又本店のAED救命事案報告書。救命当時の経緯と経過、取組みから学んだ教訓が写真付で詳細に記載されている



状態に陥ったため、心臓マッサージを施すとともに、AEDを準備。マッサージの段階で蘇生し、救急隊に搬送されたが、同設備が救命活動の一部になっていることがうかがわれる。

## 04年から使用可能に 設置率は35%以上

非医療従事者もAEDを使えるようになったのは2004年7月。以降、同設備は学校、駅、公共施設、商業施設を中心に急速に普及していった。厚生労働省がAED製造販売業者の協力を得て実施した調査によると、16年度の販売台数は83万5379台。このうち、一般市民に使用できるAEDは全体の約82%に当たる68万8329台となっている。

パチンコ業界では、使用解禁からほどなくして全系列店に設置したホール企業もあったようだ。全日本遊技事業協同組合連合会(以下、全日遊連)が08年にフィリップス社製のAEDの販売代理店・フクダ電子と共同購買事業による斡旋契約を締結すると、さらに設置店舗が拡大。ホールの大手情報サイトを確認すると、現在約35%のホールが設置を告知している。掲載する情報は各店さまざまだから、実際の設置店舗率はそれ以上と思われる。

東北地方で10数店舗を展開するホール企業の店長は「当社のお客様の主流は年配層。年に1〜2人はどこかしらの系列店で、遊技中に具合が悪くなるお客様が出ますから、AEDは必須の設備で、全店舗に常備しています」と話す。これら設置店が受講しているのが消防本部・消防署による普通救命講習(AED使用を含む心肺蘇生方法を中心に、体調不良に陥った人に対する応急手当の方法を学べる3時間カリキュラム)。系列の10数店舗全店にAEDを設置する関東のホール企業は、全社員が同講習を受講することになり、各店にはAED設置の告知とともに講習修了スタッフの写真と名前を掲示している。

## 主な教訓は5点 BGMの音量に要注意

しかし、コロナ禍の影響で、20年春以降は講習を受けづらい状況が続いている。ユーコーラッキーグループが21年夏の広又本店での



ユーコーラッキーグループでは広又本店での経験を教訓に、AED使用を想定した緊急時対応法のスタッフ間共有を強化している。写真は21年11～12月の3日間、同店で講習を受けたときの模様



救命事案を参考に、詳細な報告書にまとめて店内外に公表したのは危機感からだったと総務課の川崎政也課長は言う。

「当社も中高年客が多く、なかには年配層が大半を占める系列店もあります。お客様が体調を悪くす

るケースは珍しくありません。08年と17年にAEDによる救命活動を行なった際も社内ネットワークで共有しましたが、コロナ禍で講習が受けづらいなか、従来以上にきちんと社内共有しておく必要があると考えました」



2021年12月23日、久留米消防署で表彰されたユーコーラッキー広又本店のスタッフたち（前列左から横山茂洋ホールキャプテン、松元勇太アシスタントマネージャー、原田和呼力カウンターキャプテン、廣津亮太ホールキャプテンリーダー）。後列は久留米消防署の平山文彦署長（左）と上野卓慈警防課長



報告書には、当該客が倒れてから救急隊に引き渡すまでの8分弱の

経緯と経過が、店内の防犯カメラが撮影した画像付きで克明に記載されている。

教訓も「店内BGMの音量調整の必要性」「AED装着までの所要時間は3分前後が一つのベンチマークになる」「胸骨圧迫の重要性」「胸骨圧迫には体力を消耗するため、講習を受けたスタッフを交代で常時配置する必要がある」「講習を想定した緊急時対応法についての

のスタッフ間の共有」の5点を列挙。このなかで見落としがちな教訓として同社が挙げるのは「店内BGMの音量調整の必要性」だ。店内には遊技機の演出の音、盤面を流れる玉の音、店内BGMと、「音」があふれている。

AEDは音声ガイダンス付なので、今回は扱いに困惑することはなかったが、BGMの音量が大きすぎると、ガイダンスを聞き取れない可能性がある」と注意を促している。

そのほか、他の顧客が現場に近寄らないよう、適切に案内する必要性もあると指摘。現場に最も近い出入口の自動ドアの電源は切り開放状態にしておく必要があるとも述べる。救急隊の到着時、タンカをよりスピーディーに運び始めるからだ。緊急時の対応に関するスタッフ間の日頃の意思疎通も重要だとする。

自分たちの対応が顧客の命運を大きく左右するのだということを同社ではあらためて徹底。マニュアルも、より現場が活用しやすいものをと、広又本店でのヒアリングをもとに写真付のフローチャート仕様制作し直した。

## 部材不足で供給遅延 本体等の寿命確認を

広又本店のスタッフたちは「講習で教わった内容を思い出しながら、胸骨圧迫に臨んだ」と話しているが、講習や人命救助訓練が起きたというのは過去の救命事例の

# ホールで存在感増すAED 供給遅延も念頭に備えを

スタッフたちが語っていたことでもある。報告書が「人命救助をやり遂げたのは、スタッフたちが講習に誠実に臨んでいたから」と締めくくっているように、日頃の準備が大切ということだ。

スタッフはいざというときに適切な対応ができるよう、講習などにより基礎知識を身につけているか。AEDはすぐ準備できる場所に設置されており、常に使える状態にあるか。

同社では全従業員が講習を受けることになっているが、今回、受講状況も全系列店にヒアリングしたところ、コロナ禍もあり、かなりばらつきのあることがわかった。そのため、より短いスパンで受講できるように、本部のサポート体制を強化した。

店休日がとりづらいエリアの系列店には、朝礼時に副店長が講師となつて講習の復習を実施するなどの取組みを取り入れた。

AEDが常に使える状況にあるかに関しては、バッテリーの充電状況を怠らず、かつ本体と消耗品（パッド、バッテリー）の交換時期を定期的に確認するということだ。寿命は本体が7〜8年、パッドが

約2年、バッテリーが約4年とされている。

そこで気になるのはAEDの供給状況。コロナ禍による部材不足の影響がさまざまな分野で問題になっているが、全日遊連がフクダ電子と幹旋契約を結んでいるフィリップス社製のAEDも、部材不足で供給遅延になるとの連絡を同組合では受けている。

全日遊連の「遊報」4月号によると、出荷は一時停止され、再開はゴールデンウィーク以降になるとのことだったが、6月上旬まで、出荷が再開されたとの連絡は全日遊連に届いていない。消耗品は通常どおり、全国の販売会社で購入できるそうだが、本体の交換時期を迎えているホールは供給状況を頭に入れておく必要がある。

## 地域との共生に繋がるAED設置店拡大

ホールへのAED設置は義務ではない。だが、顧客の安全を守るという観点から、必須アイテムであると設置店舗の関係者は口を揃える。さらに、ユーザーラッキーグルーの川崎課長は地域社会との

共生、共存に資する設備でもあると力を込める。

近年、自治体と防災協定を結ぶ組合やホール企業が増え、ホールは自然災害時の防災拠点として地域社会から評価されている。それと類似した役割がAEDにもあるということだ。

「店内はもとより、近隣で人が倒れたときにも『あの店にはAEDがあり、使えるスタッフもいる』と頼られる存在になりたい。そんなホールが増えれば、大きな社会貢献になるはずです」

その思いもあって、今回の報告書を対外的にも発信することにしたという。商店街の系列店のAEDを店外の入口脇に設置し、商店街で不測の事態が発生した際にも活用できる旨をPRしているホール企業もある。本レポートが、業界内でAED設置の意義を見つめ直す契機となれば幸いだ。



出店する商店街への貢献活動として、AEDを店頭で設置しているホールもある（写真は宮城県の百反が仙台市に構えるABC本店）

右から工藤理事長、暴追センターの乳井博専務理事、県防連の細江達郎会長、県社福協の宇土沢学特命参事

## 岩手県遊協が県内公益団体に寄付金

岩手県遊技業協同組合（工藤嘉理事長）は5月24日、社会貢献活動の一環として県内の公益事業団体に寄付金を贈呈した。贈呈先は公益財団法人岩手県暴力団追放推進センターと社会福祉法人岩手県社会福祉協議会、公益社団法人岩手県防犯協会連合会の3団体で、寄付金額は各20万円。



贈呈式は同県盛岡市の「盛岡グランドホテル」での同県遊協総会前に行なわれ、工藤理事長が3団体の代表者に目録を手渡した。

## ウクライナ人道支援へ真城が救援金を寄付

愛知県と岐阜県に店舗展開する真城ホールディングス（本社・名古屋市、真城貴仁社長）は5月31日、ロシアからの軍事侵攻が続くウクライナへの人道支援として、救援金100万円を日本赤十字社愛知県支部に寄付した。寄付金はウクライナ及び周辺国で行なう救援活動や人道支援に使われる。名古屋市の日赤愛知県支部で行なわれた寄贈式では、同社の真城吉仁専務取締役が同支部の新美孝調整監に目録を手渡した。これに対して、新美調整監から感謝状を授与された。同社では「一日でも早く停戦合意が成立し、世界に平和と安全が戻ることを祈念いたします」としている。



真城専務取締役(左)と新美調整監

# 景品(賞品)提供業務の 効率化・合理化について



## 三堀 清

みほり きよし

昭和32年 神奈川県生まれ

早稲田大学法学部卒

司法修習終了後

昭和63年 弁護士登録(第二東

京弁護士会)し、大手企業の

法律問題を扱う法律事務所勤

務を経て

平成8年 早稲田大学大学院修

士課程終了

平成9年 三堀法律事務所開設

現在、パチンコホールを始め企  
業関連の民事事件を手がける

## 1 景品(賞品)と

景品カウンターにおける

景品提供業務の

効率化・合理化

パチンコホール業界では、参加人口の減少に伴う業績低迷にコロナ禍が加わって長期的に売上減少傾向にあり、また働き方改革によってスタッフの長時間労働が許されなくなり、人手不足が深刻化しており、業務の効率化・合理化が喫緊の課題となっている。

ホールにおける業務の効率化・合理化の一環として、景品(賞品)カウンターのセルフ化(セルフカウンター化)、ガチャガチャの設置の他、休み時間を設けようという動きもあるようである。

今回は、このような景品カウンター

における景品提供業務の効率化・合理化に関する法律的な論点について考察する。

## 2 セルフカウンター化について

セルフカウンターとは、景品の自動払出機を設置することにより、景品カウンターの省力化、更には無人化をしようというものである。殆どの場合、景品の自動払出機は、ホール外の景品買取所で買い取ってもらうことにより現金化できる景品専用となっている。

しかしこのシステムは、一部の換金可能な景品だけを特別扱いして自動払出機によって提供するということから、

(1) ホール業者の換金への関与を疑わし

める

(2) 景品の取り揃えに逆行する

(3) 遊技客の景品選択の自由を狭める  
という問題が生じる。

特に、景品カウンターを完全に無人化すると、他の景品も一応は置いてあったとしても、客にとっては実際に提供を受けられるのは自動払出機にセットされた換金可能な景品だけということになってしまうのである。

このような問題をクリアするには、まずは景品の品目と種類を取り揃え、客が多くの景品の中から選択できるようにしておくことは当然のこととして、取り揃えたうちの売れ筋(人気)の景品を自動払出機で提供するという体裁とする他はないものと考えられる。例えば、ペンダントトップ或いは金地金賞

品といった売れ筋の景品については自動払出機で提供し、それ以外の景品については従前同様スタッフが対面で提供するのである。

こう考えると、現状では景品カウンターを完全に無人化することは問題が多いものと判断される。

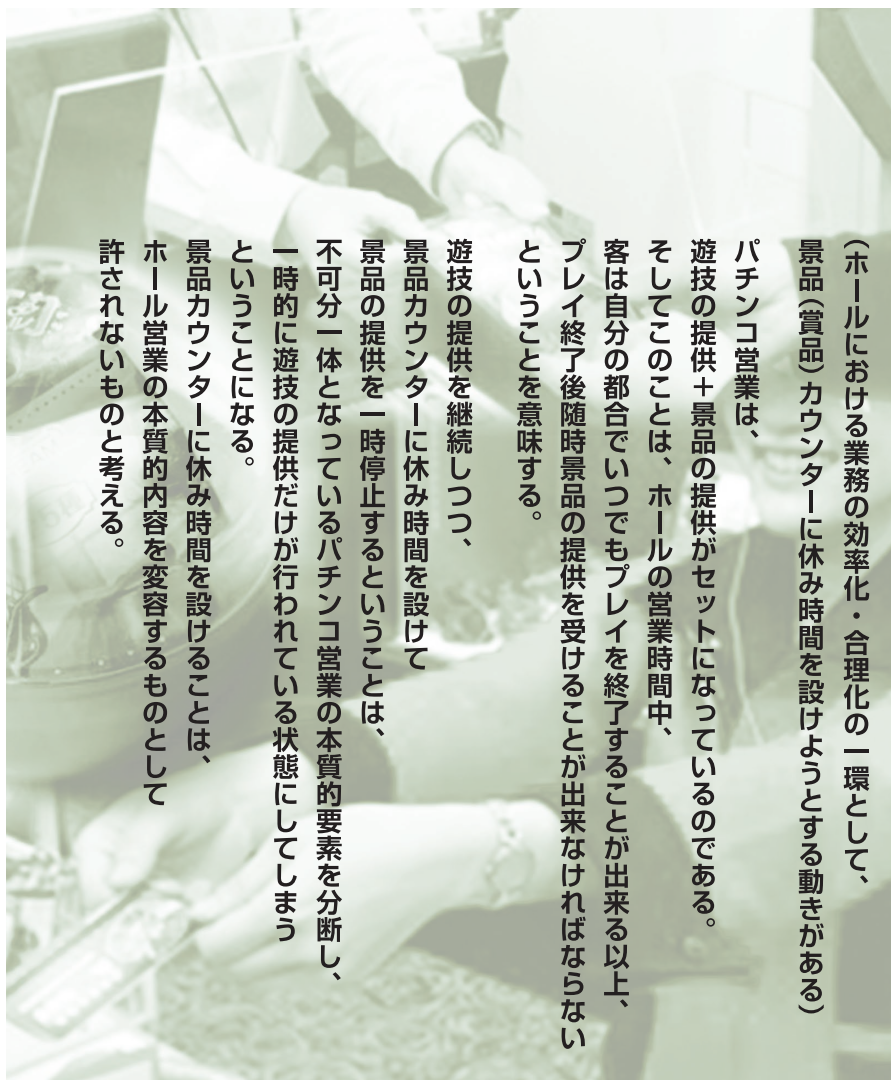
### 3

#### ガチャガチャの設置について

ガチャガチャとは、硬貨を投入してレバーを回すとプラスチック製のカプセルに入った玩具類(カプセルトイ)が出て来る小型の自動販売機のことである。これをホールの景品コーナーに設置し、希望する客に出玉と交換に専用メダルを提供し、客はメダルを投入してカプセルトイを取得するという方法で使用するのである。

景品コーナーにガチャガチャを設置した場合、そもそも何が景品なのかという問題、すなわち景品として提供されるのは景品カウンターで渡される専用メダルなのか、それともガチャガチャの中のカプセルトイなのかという問題を解決しなければならない。

仮に専用メダルが景品であるとする  
と、客はメダルに表彰された「ガチャ



(ホールにおける業務の効率化・合理化の一環として、景品(賞品)カウンターに休み時間を設けようとする動きがある)

パチンコ営業は、

遊技の提供+景品の提供がセットになっているのである。

そしてこのことは、ホールの営業時間中、

客は自分の都合でいつでもプレイを終了することが出来る以上、

プレイ終了後随時景品の提供を受けることが出来なければならない

ということを意味する。

遊技の提供を継続しつつ、

景品カウンターに休み時間を設けて

景品の提供を一時停止するということは、

不可分一体となっているパチンコ営業の本質的要素を分断し、

一時的に遊技の提供だけが行われている状態にしてしまう

ということになる。

景品カウンターに休み時間を設けることは、

ホール営業の本質的内容を変容するものとして

許されないものと考ええる。

ガチャの中のカプセルトイを取得する権利」を景品として提供されることとなり、メダルはこのような財産的な価値を表章した有価証券に他ならないということになるから、現金又は有価証券を景品としての提供禁止(風適法23条1項1号)に違反することになってしまうのである。

これに対し、ガチャガチャの中のカ

プセルトイ自体が景品であるとする、この問題はクリアできるが、そのためには、客は景品カウンターでガチャガチャの専用メダルを選択した時点で、ガチャガチャの中の「何種類かの玩具類のうち何が入っているかわからないカプセルの一つ」を確定的に景品として取得し、メダルはこの「カプセルの一つ」を直接手に取るためのツール



に過ぎず、財産的価値ある権利⇨カプセルトイを取得する権利を表章するものではない、という体裁を整えなければならぬ。

具体的には、専用メダル1枚⇨カプセルトイ1個(「何種類かの玩具類のうち何が入っているかわからないカプセルの一つ」としたうえ、発行当日限り使用可能・ホール外持出禁止として転々と流通しないようにする必要がある。

実際の運用においては、ガチャガチャを景品カウンターに設置して専用メダルを受け取った客がその場でメダルを投入してカプセルトイを実際に手に取ることを見届けるようにすることが必要であると思われる。専用メダルに代えてガチャガチャで使える当日限り有効な磁気カード等とすることも考えられる。

## 4 景品カウンターの 休み時間について

人手不足に対応するために、景品カウンターに昼休み等の休み時間を設けようという動きもあるようである。

風適法はパチンコ営業における景品の提供を正面から規定してはいないが、

同法19条には「…国家公安委員会で定める遊技料金、賞品の提供方法及び賞品の価格の最高限度(…)に関する基準に従い、その営業を営まなければならない」とあることから伺えるように、パチンコは勝玉が景品(賞品)と交換できるということを当然の前提としている。このことは景品の提供が、設置した遊技機による遊技の提供と共にパチンコ営業に不可欠の本質的な要素であるということの意味する。すなわち、パチンコ営業⇨遊技の提供+景品の提供がセットになっているのである。そしてこのことは、ホールの営業時間中、客は自分の都合でいつでもプレイを終了することが出来る以上、プレイ終了後随時景品の提供を受けることが出来なければならないということを意味する。

となると、遊技の提供を継続しつつ、景品カウンターに休み時間を設けて景品の提供を一時停止するということは、不可分一体となっているパチンコ営業の本質的要素を分断し、一時的に遊技の提供だけが行われている状態にしてしまうということになる。しかし、ホールにおいては、景品カウンターに休み時間を設けて景品の提供を一時停止するのであれば、遊技の提供すなわち遊技機の稼働も一時停止しなければなら

らなくなるということになる。

以上から、景品カウンターの休み時間を設けることは、ホール営業の本質的内容を容れざるものとして許されぬものと考えられる。

その他、景品カウンターに休み時間を設けることは、客はその間に景品の提供を受けられないことになって本意ながらプレイを継続してしまうことになったり、出玉の持出しやジェットカウンターのレシートの持出しをししたりする原因となる可能性がある点からも問題がある。

これに対し、法定の営業時間を遵守するために営業終了時間の10〜15分前に遊技の提供を終了し、その後営業終了時間までは景品の提供だけを継続することは許される。

景品の提供もパチンコ営業の本質的要素であるから、法定の営業時間内にはスッパリと終了していなければならぬが、遊技の提供と景品の提供を同時に終了すると、ギリギリまでプレイをしていた客は、プレイ終了後に景品の提供を受けられなくなってしまう。このような事態を回避するためには、寧ろ遊技の提供を先行して終了させ、景品の提供は継続させなければならぬからである。



# 店長に求められる知識

## 計 数 管 理 IX

### パチンコ店舗管理者実務能力検定試験

通称・P能検。エンタテインメントビジネス総合研究所が2005年から実施。対象の中心はホール店長やその候補者。筆記試験は7科目（一般常識・業界知識・法律知識・不正排除、計数管理・機械整備・設定管理、顧客サービス、経営マネジメント、マーケティング、労務管理）で構成されており、全100問が出題される。

パチンコ店の店長にとって、計数管理の知識は必須です。パチンコ店の利益管理に直結する知識であり、パチンコ店の商品である遊技機運用のあり方も左右します。他の業種とは異なる、パチンコ店ならではの知識でもあります。計数管理の知識を身につけ、より魅力的なパチンコ店づくりを目指しましょう。

現在では店内のホールコンピュータによって様々なデータを確認することが出来ます。そのデータがどのように算出されているのか理解しておきましょう。

まずは、1分間当たりのスタート数（100個当たりのスタート数）から1000円当たりのスタート数を導く問題を解いてみましょう。

### 千円スタート

#### 【問題】

アウト玉数100個当たりのスタート回転数が5・40回、ベースが32・5%のとき、1000円当たりのスタート回転数として正しいものはどれか。ただし、遊技料金は100円24個とする。

（小数点第2位を四捨五入とする）

#### 【選択肢】

a : 16・8回  
b : 18・5回  
c : 19・2回  
d : 20・0回

#### 【回答分布】

a : 26・3%    b : 28・4%  
c : 41・1%    d : 4・2%

#### 【正解と解説】

正解はcです。

パチンコの1000円スタートは、以下の公式で求めることができます。

1,000円スタート(回)  
=1,000円分の売上玉÷B%  
×アウト玉数100個当たりのスタート回転数  
従って  
1,000円当たりの売上玉:240個、  
B%=100-ベースなので、  
100-32.5=67.5%となり、  
1,000円スタート  
=(240÷67.5)×5.40=19.2回  
となります。

お客様は時間を計りながら遊技しているわけではないため、1分間当たり(100個当たり)のスタート回転数を正確に把握することができません。一般的に、お客様が回る・回らないを判断するのは、「一定金額を投入して、玉が無くなるまでのスタート回転数」です。そこで、100個当たりのスタートを1000円スタートに換算します。100個当たりのスタートが店側視点であるのに対して、1000円スタートはお客様視点に立ったデータと言えるでしょう。

次は、遊技する人の予算額の目安になる初期投資金額を算出する問題です。

## 初期投資金額

### 【問題】

TS187・5、アウト玉数100個当たりのスタート回転数が6・25回、ベースが32・5%のとき、理論上の初当たりまでの投資金額はいくつか。遊技料金は1個4円とする。

(小数点第1位を四捨五入とする)

### 【選択肢】

- a : 3900円
- b : 6400円
- c : 8100円
- d : 1万2000円

### 【回答分布】

- a : 10・4%
- b : 22・2%
- c : 52・2%
- d : 15・2%

【正解と解説】  
正解はcです。

TS187.5、  
アウト玉数100個当たりのスタート回転数が6.25回より、  
 $BO = TS \div \text{アウト玉数} \times 100$  なのので、  
 $187.5 \div 6.25 \times 100 = 3,000$ 個となります。  
ベースが32.5%より、B%は  $100 - 32.5 = 67.5\%$  です。  
よってBサは  $BO \times B\%$  なのので、  
 $3,000 \times 67.5\% = 2,025$ 個です。  
遊技料金は1個4円より、  
初期投資金額は  $2,025 \text{個} \times 4 \text{円/個} = 8,100$ 円となります。

次は、パチスロの場合の初期投資金額の算出方法について見てみましょう。

### 【問題】

ビッグボーナス確率が1/240、レギュラーボーナス確率が1/480、ベースが60%のとき、ボーナス発生までに想定される初期投資金額はいくらか。1ゲームは3枚掛けで遊技し、遊技料金は1枚20円とする。

(計算過程は小数点第3位、最終結果は小数点以下を四捨五入とする)

### 【選択肢】

- a : 3200円
- b : 3840円
- c : 5333円
- d : 8640円

### 【回答分布】

- a : 10・9%
- b : 40・5%
- c : 31・1%
- d : 17・5%

### 【正解と解説】

正解はbです。

パチスロはパチンコと異なり、

大当たり(ボーナス)が複数存在します。そこで、合成確率を求めます。合成確率はビッグボーナス率+レギュラーボーナス率です。

$$1/240 + 1/480 = 1/160 \text{です。}$$

よってBO(3枚掛け時)は、  
 $160 \times 3 = 480$ 枚です。

$$Bサ = 480 \times (100 - 60)\% = 192 \text{枚と求めることができる。}$$

$$\text{初期投資金額} = Bサ \times \text{遊技料金より、} \\ 192 \times 20 = 3,840 \text{円となります。}$$

パチスロのBOは、合成確率の分母に投入枚数を掛けることで求めることができます。初期投資金額はパチンコなら初当たりを引くまでの平均投資額、パチスロならボーナス(もしくはATやART)を1回引くまでの平均投資金額です。遊技する人がどの程度の金額で当たりやボーナスを引くことができるのか目安をつけるための金額です。パチンコとの違いを理解しておきましょう。

次は、パチンコ店における儲け

の指標とも言える割数の算出に関する問題です。

## 割数

### 【問題】

TS250、アウト玉数100個当たりのスタート回転数6・25回、BY7・75、TY3000個、客滞率140%、スタート賞球3個のとき、割数はいくつか。  
(小数点第3位を四捨五入とする)

### 【選択肢】

a : 10・20割  
b : 10・29割  
c : 14・29割  
d : 18・29割

### 【回答分布】

a : 23・3%    b : 34・4%  
c : 37・9%    d : 4・4%

### 【正解と解説】

正解はbです。

割数を求めたいので、売上玉と景品玉を問題文の条件より求めます。

BO=250÷6.25×100=4,000個、  
ベース=6.25×3+7.75=26.5%、B%=100-26.5=73.5%  
Bサ=4,000×73.5%=2,940個、売上玉=2,940÷140%=2,100個  
Bサのうち、売上玉を使用した分が2,100個であるため、  
持ち玉を使用したBサは、2,940-2,100=840個と求めることができます。  
よって景品玉は、  
TYより持ち玉使用分のBサを引いて求めることができるので、  
3,000-840=2,160個となります。  
以上より割数は、2,160÷2,100×10=10.29割

であり、bが正解です。

◆ 今年の年初には旧規則機が撤去され、パチンコ店はますます緻密な営業が求められています。さらに、スマート遊技機の登場も予定

### 今回登場した計数用語

用途	意味・公式
1,000円スタート	貸玉料金1,000円当たりのスタート回数 1,000円スタート =1,000円分の売上玉÷B%×アウト玉数100個当たりのスタート回転数
アウト	打ち込んだ玉の数
スタート	スタート入賞口に玉が入り、図柄の変動した回数のこと
セーフ	払い出された玉の数
ベース	ベース(%)=通常時のセーフ÷通常時のアウト×100% ※ホールコンピューター内部の計算 ベース(%)=(スタート回転数(回/分)×スタート賞球)+BY ※パチンコに限る
客滞率	「売上玉遊技」に対する「売上玉と持玉遊技(Bサ)」の合計の比率を表した数値 客滞率=Bサ(売上玉と持玉遊技)÷売上玉×100
合成確率	パチスロで、ビッグボーナスとレギュラーボーナスの確率を合算したもの
初期投資金額	パチンコの場合は初当たりを引くまでの投資額 パチスロの場合はボーナス(もしくはATやART)を1回引くまでの平均投資金額 初期投資金額=Bサ×貸玉金額
BO	通常時のアウト。特賞間アウトとも言う BO=TS÷スタート(回/分)×100
BY	100玉当たりのアウトに対して、 スタート入賞以外の他入賞によって払い出される玉と オーバーフローによって払い出される玉のこと
Bサ	特賞間における差玉
B%	吸込率とも言う。通常時における玉の減り具合を表す数値 B%=100-ベース
TS	特賞確率
TY	特賞中(確変・時短中も含む)の差玉

され、今後も営業のあり方は変化していきそうです。

数 そのような環境だからこそ、計数の知識が役に立つことでしょう。

# 銀世界の裏

文・綾小路 杏

154

新たな挑戦

前編

「現場主義」

パチンコホール経営を引き継いだのは6年前。

先代経営者の親父が亡くなったのは、ちょうど1年後。

病気で体を弱らせていたが、俺に任せられるまではとギリギリまで頑張った。

その親父が一番重要視していたのが、この「現場主義」。

報告書の数字だけを見るな、必ず現場を見る。

俺も親父の理念を引き継ぎ、時間があれば各店舗を見まわるようにしている。

「よく頑張っているな」と従業員に声をかけてモチベーションを上げさ

せているけれど、そういう自分のモチベーションはイマイチだ。

今日は久しぶりに経営するパチンコホール6店舗を自分の目で見てまわっていた。

集客がソコソコなのは2店舗だけで、他の4店舗にはお客さんがほとんどいない。

ぶっちゃけ、ガラガラ。

新しい遊技機規則が決まって設置猶予期間が終わり、遊技台を入れ替えて大々的に宣伝したけれど、お客さんに受け入れられず。

平日の昼間だったからかもしれないけれど、2年前とかを思い出すと隔世の感がある。

特にショックだったのが、20年くらい前にオープンさせたホール。

競艇帰りのお客さんを狙って競艇場近くに作った。

これが実に大当たりで、開催日の夕方とかには競艇帰りのお客さんで店

内は満席に。

店内にはテレビを設置し、衛星放送でやっている競艇中継を流していた。

競艇場で舟券のみを買って帰るお客さんが、休憩がてらパチンコを打っていた。

そして今度は隣にちょっとしたレストランをオープンさせたら、これまた競艇ファンのニーズに合っていたようで、大いに儲かった。

その競艇場の開催日でなくても、他の競艇場の舟券を販売するので、そんな日も競艇場は賑わう。

ホールとレストランも賑わう。

当時はグループ内売り上げトップの店舗だった。

が、今はその店舗もガラガラ。

あのお客さんたちはどこ行ったのだろうか。

見る人がいなくなった競艇中継がむなしく流れる。

# 裏世界の銀

遊技台の島は2つ閉鎖。

栄枯盛衰は世の習いというが、この現状を改めて実際に見てみると、本当にシヨックだ。

ここ数年はパチンコホールの経営をやめようかと考えるようになった。

しかし、親父から引き継いだ6店舗を減らすことは自分のプライドも許さないし、働いている従業員の雇用は守りたい。

特に最近ではコロナで影響を受けていた母子家庭のお母さんや、学費が払えないと困っていた学生さんを優先的にアルバイトとして採用していたから、可能な限り営業は続けていた。

パチンコホールが6店、それにレストランが1店。

駅前で自社ビルが3棟あって不動産の収入があるからなんとかやっていけるものの、新たにフランチャイズで出店したコンビニや持ち帰り弁当

のお店も、それほどグループ全体にとってプラスにはなっていない。

今後、どうするのか？

会社の舵取りは最終的には経営者である自分の判断によるものだろうし、当然、その責任の多くは自分が受けるしかない。

そんなある日の経営会議。

グループ各店舗の店長クラスや本社の幹部が出席した会議で、議論が白熱した。

俺が若いこともあって、経営会議では遠慮せず発言してもらっている。

これも、風通しの良い組織にする、という親父の方針を継承したものだ。

当然、俺に対する苦情もあるが、それもわが社の良い部分だと思ってどんどん言ってもらっている。

その日、本社で経営企画を担当する幹部らはパチンコ事業を整理すべき

だ、と主張した。

理由は今後、お客さんが喜ぶような新しい遊技機規則に基づいた機械が出たとしても、すぐにお客さんが戻ってくるという保証は無いこと。

さらにコロナ禍により低貸しの稼働を支えていたおじいちゃん、おばあちゃんが目に見えて少なくなったことで、将来的にも非常に厳しい状況になることが想定されるから、という理由。

一度、6店舗を2〜3店舗に整理し、土地は賃貸に回したり、当社の他の事業に切り替えるべきだ、という意見だった。

それは俺も検討していたことで、とはいえ実行するのは躊躇していた大改革。

パチンコ事業の代表として出席している各ホールの店長らも、苦い顔をしつつも、内心は「仕方ない」と思っているようだった。

その時、ふと自分のなかで単純に疑問がわいた。

昔、うちのパチンコホールを満席にしてくれていたお客さんで、どうなったんだろう？

今は何をしているんだろう？という疑問。

自分には、当時のパチンコファンが、遊技機が面白くないからといって自宅で読書をするとは到底思えなかったからだ。

そこで会議の最後に本社経営企画の幹部連中に調査を命じた。

離れたお客さんの動向調査。

過去、うちのパチンコホールをひいきにしていたお客さんは、今は何をしているのか。

コロナの影響もあるだろうが、パチンコに使っていた時間を今は何に使っているのか。

そして、ちょうど1か月後の会議。

本社の経営企画部から資料が提出さ

れた。

店舗の協力を得て、過去のお客さんの現在の生活スタイルを可能な限り調べたという。

そのデータは衝撃的だった。

まず総売り上げの比較として、競馬や競輪、そして競艇の売上はめちゃめちゃ伸びていた。

逆にパチンコは激減していた。

会議では経営企画部の報告が続いた。

2017年の全国の競艇場24場の総売り上げは1兆2379億円で、2020年には1兆9015億円に拡大しています。

これはコロナ禍においてネット投票によるものが非常に大きいという事です。

特にナイター開催の7場に比べても2017年の5536億円から2020年には8445億円に達しています。

逆に我がパチンコ業界は、ある研究機関が公表したデータによると、貸し玉料金で2017年に22兆以上あった売り上げが2020年には14兆円台半ばまでに縮小しています。

ちょうどグラフにすると競艇の上昇カーブがパチンコの下降カーブと反比例している形になるのです。

ネット投票をする人が増え、「開催していない競艇場」に舟券だけを買ってくる人が減れば、結果待ちの休憩目的でパチンコホールに入る人も減るのは当然のことだ。

パチンコホールから客足が遠のいたのはコロナの問題に加え、遊技機の射幸性が落ちたから……と同時に、こうしたインターネットの活用もあったようだ。

(次号に続く)

この物語はフィクションです。

実際の出来事を参考に書いているますが、現実に存在する人物像や事件とは一切関係ありません。

## 編集後記

機構事務所の近く、コンビニのあるビルに金工彫刻がはめ込まれている。海上を金色イルカの群れが遊泳する、夏にふさわしい作品。立ち止まってよく見た。

「夢の水族館2001・3 宮田亮平」と記されているではないか。

芸大学長、文化庁長官を歴任した金工作家の宮田氏の21年前の作品だった。昨年パチンコ・パチスロ社会貢献機構の代表理事に就任されている。

同氏の作品といえ、神田明神の境内に大作がある。大

金色のイルカ 海原の波の渦の中に

に金色の「えびす様」が坐り、イルカやタイ、カメなどを従えている。神社の依頼で制作され、手を合わせる参詣客も多い。「夢の水族館」はその4年前の制作。

金色イルカも幸運を運んでくれそうな気配が。(M)

本年5月の誕生日をもって還暦を迎えることができた。私を社会の一員として支えてくださった多くの方に感謝を申し上げます。

大きな声では言えないことだが、若い頃から競馬やパチンコにのめり込み、両親には

とてつもない迷惑をかけてしまった。

特に財布から何度も何度もお金を抜きとったものの、まったく注意もされず、私が納得するまで競馬やパチンコをやらせてくれた母にはなんと感謝して良いやら……。

「勝負事は、運が悪い時はなにをやってもダメなんだからその日はあきらめて帰って来い！」この言葉も何度言われたかわからない。(H)

5月、長野に出張したついでに善光寺に足を運んだ。昨年行われる予定だった7年に1度の前立本尊御開帳がコロナ禍で今年に延びたもので、すごい人出だった。

回向柱やおびんずるさんに触ったり、戒壇巡りしたり、善光寺をさまさま味わったが、

善光寺 一方で蘇ったのは亡き母の

記憶だ。同寺は15、16年前に母と姉と来て以来。あれが母との最後の旅行になってしまったことがいまだに悔やまれる。

手を合わせながら母に詫言いつつ、再会はもう少し待ってほしいと頼み、家路についた。(N)

おかしいと思ったら すぐここへ <https://www.suishinkikou.or.jp/>

# 不正排除に 全力

遊技機も 計数機も



第三者機関  
遊技産業健全化推進機構

Organization for  
the Sound Development of  
the Pachinko & Pachislot Industry